

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第6週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,775例あり、2022年の累積報告数は9,340例となった。

全数報告の感染症 (6週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：ウイルス性肝炎1例、梅毒2例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
5類	ウイルス性肝炎	都城	20歳代	男	C型	全身倦怠感、黄疸
	梅毒	都城	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
		高鍋	40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
	破傷風	都城	60歳代	女	—	開口障害、発語障害

新型インフルエンザ等感染症 (6週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 1,775例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	800例	113	108	99	108	153	68	58	45	25	23		発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	286例	56	40	30	49	36	17	26	10	11	10	1	
延岡	228例	19	39	29	21	21	27	19	20	12	19	2	
日南	100例	9	14	8	8	9	4	11	20	6	11		
小林	48例	14	7	2	5	3	3	4	1	7	2		
高鍋	147例	27	28	15	25	23	14	5	8	2			
高千穂	1例	1											
日向	112例	17	21	15	11	18	15	10	1	3	1		
中央	32例	7	9	4	2	4		4	2				
県外	21例		5	8	2	1	5						

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は453人(定点当たり13.3)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

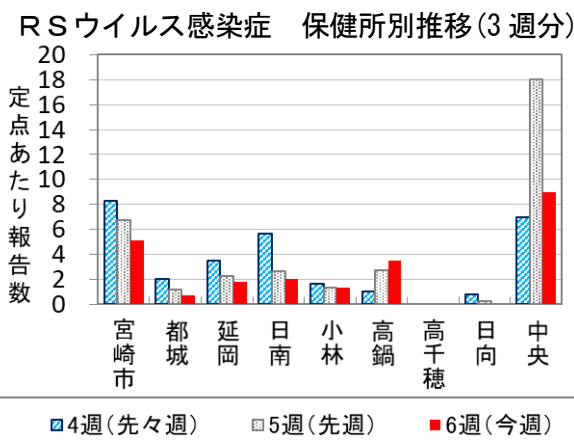
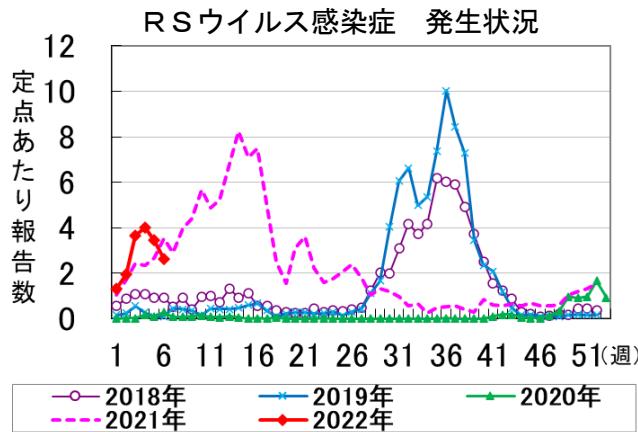
【RSウイルス感染症】

報告数は95人(2.6)で、前週比76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.95)の約2.8倍であった。中央(9.0)、宮崎市(5.1)、高鍋(3.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

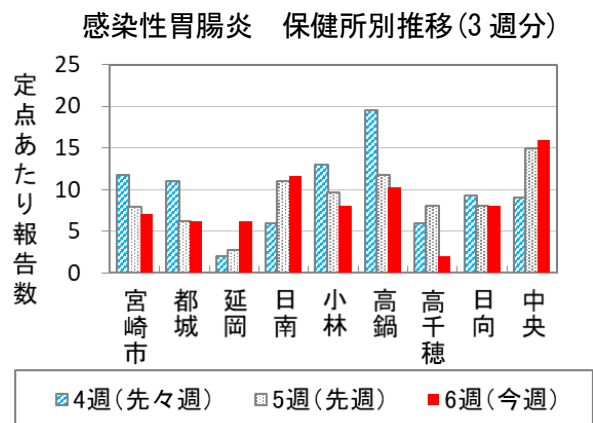
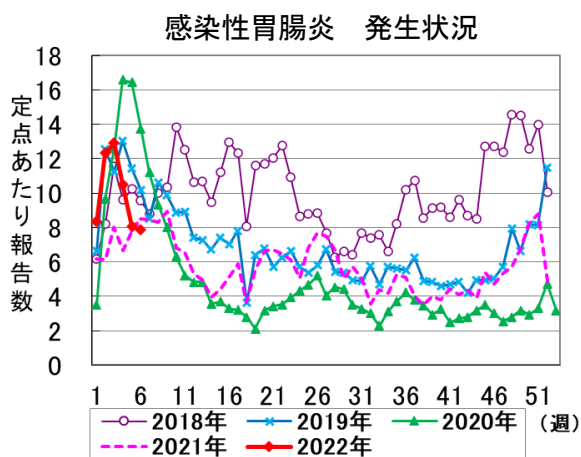
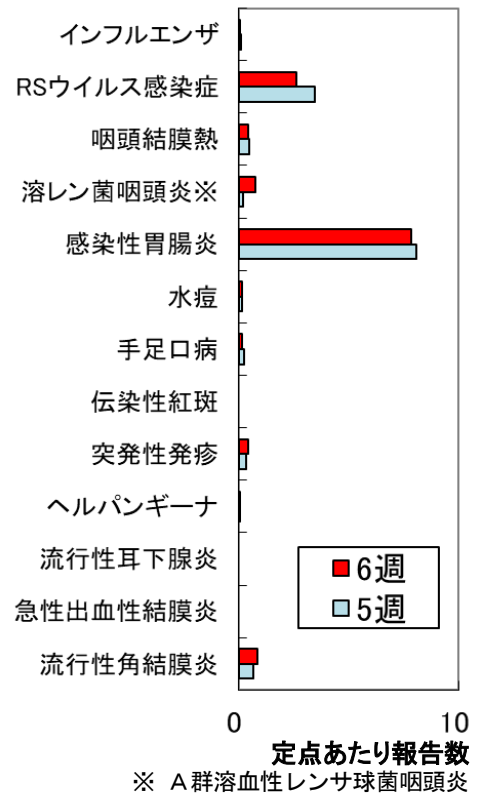
【感染性胃腸炎】

報告数は283人(7.9)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(10.3)の約0.8倍であった。中央(16.0)、日南(11.7)、高鍋(10.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



《前週との比較》



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年2月14日までに検出）

★細菌 なし。

★ウイルス なし。

🇯🇵 全国 2022 年第 5 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	190 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7 例				
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	3 例	回帰熱	1 例
	つつが虫病	1 例	日本脳炎	1 例	ライム病	2 例
	レジオネラ症	12 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例
	梅毒	130 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	百日咳	4 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 82%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は1,050人(0.34)で前週比69%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.35)とほぼ同率であった。宮崎県(3.5)、富山県(2.2)、熊本県(1.8)からの報告が多く、年齢群別では3歳以下が全体の約9割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は17,903人(5.7)で前週比81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.4)の約1.1倍であった。大分県(14.9)、福井県(11.6)、山形県(11.1)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2022年1月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は33人(2.5)で、前月比67%と減少した。また、昨年1月(3.5)の約0.7倍であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月の約0.8倍、昨年1月の約0.9倍であった。

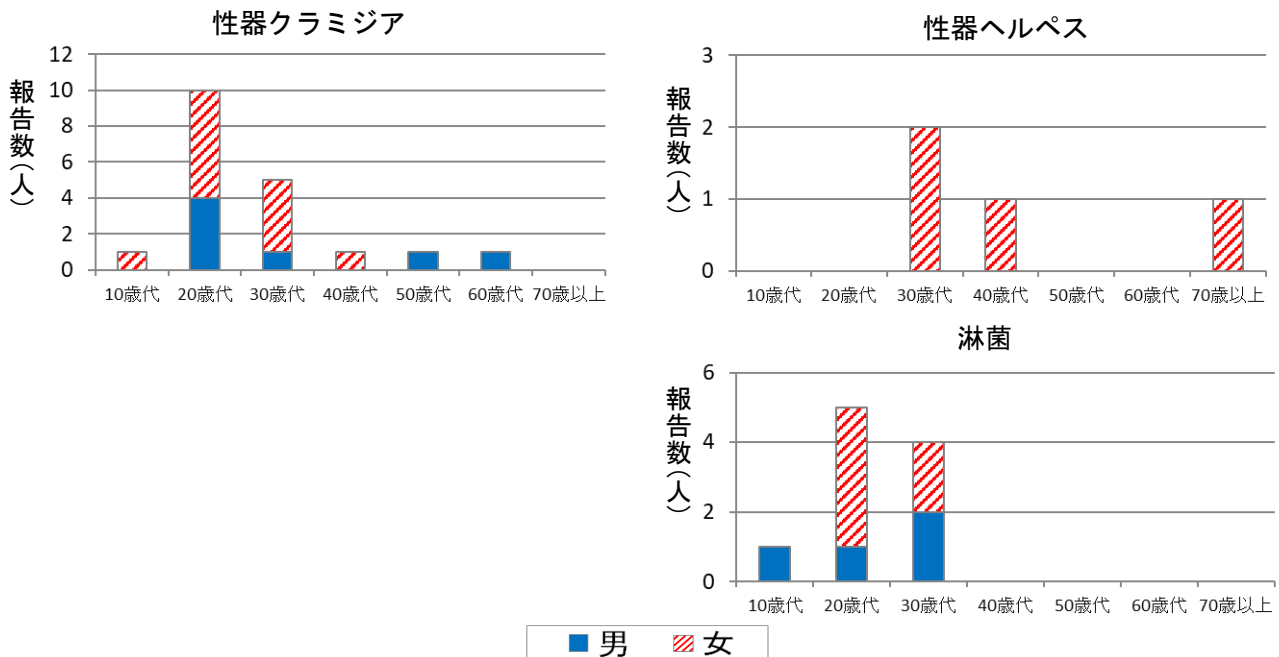
20歳代が全体の約半数を占めた。(男性7人・女性12人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.5倍、昨年1月の0.4倍であった。
(女性4人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数10人(0.77)で前月の約0.7倍、昨年1月の約0.8倍であった。

(男性4人・女性6人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,422人(4.5)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,361人(2.4)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症760人(0.78)で前月比96%、尖圭コンジローマ420人(0.43)で前月比98%、淋菌感染症881人(0.90)で前月比99%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は27人(3.9)で、前月比169%と増加した。また、昨年1月(2.9)の約1.4倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数26人(3.7)で、前月の約1.6倍、昨年1月の1.3倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった。(前月及び昨年1月報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,266人(2.7)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,208人(2.5)で前月比101%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症44人(0.09)で前月比69%、薬剤耐性緑膿菌感染症14人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第06週(02月07日～02月13日)

疾病名		第5週	第6週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5	1			1						
	定点当り	0.09	0.02	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	125	95	51	4	7	6	4	14			9
	定点当り	3.47	2.64	5.10	0.67	1.75	2.00	1.33	3.50	0.00	0.00	9.00
咽頭結膜熱	報告数	17	15	6	1	1	3		2		2	
	定点当り	0.47	0.42	0.60	0.17	0.25	1.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	7	27	2	4		18	1			1	1
	定点当り	0.19	0.75	0.20	0.67	0.00	6.00	0.33	0.00	0.00	0.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	291	283	71	37	25	35	24	41	2	32	16
	定点当り	8.08	7.86	7.10	6.17	6.25	11.67	8.00	10.25	2.00	8.00	16.00
水痘	報告数	6	5	2		1	1				1	
	定点当り	0.17	0.14	0.20	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	9	5	2		1					1	1
	定点当り	0.25	0.14	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	16	6	1	2	3	3	1			
	定点当り	0.33	0.44	0.60	0.17	0.50	1.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	5	4	1							
	定点当り	0.67	0.83	1.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～6週)

2類感染症	結核	11例(1)			
4類感染症	つつが虫病	6例	レジオネラ症	1例	
	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症 1例
5類感染症	梅毒	11例(2)	破傷風	1例(1)	
	新型コロナウイルス感染症	9340例(1775)			

()内は今週届出分、再掲